

NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA
新・奥の細道

一周ルート

⑪

芭蕉清風と史跡のみち

Basyoseifu-to-shiseki-no-michi



山形県

みどころ案内
GUIDE

俳聖松尾芭蕉が11日滞在したまち「尾花沢」。

このみちは尾花沢から東へ進み、芭蕉ゆかりの養泉寺や芭蕉・清風歴史資料館などを巡り自然豊かな徳良湖へと続く。この徳良湖は花笠おどり発祥の地で、夏のオートキャンプ場、冬のワカサギ釣りのポイントとして多くの人に親しまれています。

ルートはそこから南へ向かい、山門や杉など文化財を数多く見ることができる「龍護寺」が終点。

養泉寺

Yosen-ji

芭蕉が10日間の尾花沢滞在のうち7日間は最上三十三観音二十五番札所として賑わっていた、ここ「養泉寺」に滞在しました。ここで、芭蕉が詠んだのが「涼しさを 我が宿にして ねまる也」です。



養泉寺(涼し塚)

徳良湖

Tokura-ko

徳良湖は大正8年に灌漑用水に利用するため造られた人造湖です。この工事の副産物として生まれたのが「土搗唄」と「土搗踊」です。これが「花笠音頭」「花笠踊り」として現在まで伝えられています。また、徳良湖は、夏のピクニック・キャンプ、冬の白鳥観察・ワカサギ釣り、四季を通じて訪れる者の憩いの場になっています。

◎オートキャンプ場

◆利用料金/1人・平日200円、土・日祝400円

◆お問い合わせ/徳良湖青少年自然研修センター ☎0237-23-3235



徳良湖



徳良湖
オートキャンプ場

芭蕉・清風歴史資料館

Basho-seihu-rekishi shiyokan

芭蕉・清風歴史資料館は、昭和58年7月歴史を学び、大切に保存し後世に伝えることを目的として開館しました。

元禄2年(1689)5月、芭蕉は門人曾良とともに、山刀伐峠の険しい路を越え、尾花沢の鈴木清風を訪ね、11日間滞在しました。芭蕉は不朽の名作「奥の細道」に「かれ(清風)は富める者なれど、志いやしからず」と記されています。

芭蕉と清風の尾花沢での出会いを偲び、さらに雪の町尾花沢の生活を振り返り、地域の歴史と文化を体験できる資料館です。

◆開館時間/10時~16時30分

◆休館日/月曜(祝日の次の日)

◆入場料/大人200円、学生100円、小・中学生50円

◆お問い合わせ/☎0237-22-0104



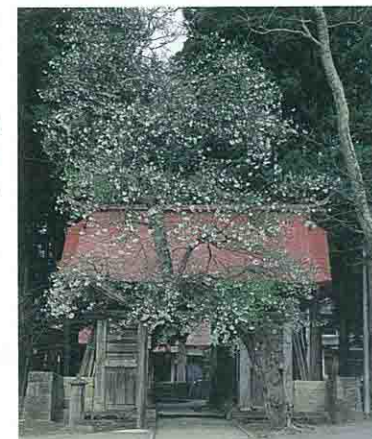
芭蕉・清風歴史資料館内部

龍護寺

Ryugo-ji

龍護寺は延沢地区の中心に位置し、延沢城跡に隣接しています。

この2つは貴重な歴史遺産であり、龍護寺山門は市指定文化財、また延沢城跡の杉は県の天然記念物に指定されています。



延沢龍護寺山門

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



周辺の
アクセス
ガイド

尾花沢市までは
・山形市からはJR奥羽本線で大石田下車。
・そこからバスに乗り換え10分。
・車では山形市から60分。



観光・宿泊のお問合せ	尾花沢市商工観光課 〒999-42 尾花沢市大字尾花沢2861	☎0237-22-1111
交通のお問合せ	JR大石田駅 〒999-41 大石田町仲通	☎0237-35-2022
コースのお問合せ	尾花沢市商工観光課 〒999-42 尾花沢市大字尾花沢2861	☎0237-22-1111
	山形県環境保護課 〒990-70 山形市松波2-8-1	☎0236-30-2207

表紙の写真は、芭蕉・清風歴史資料館

"新・奥の細道"とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

"新・奥の細道"は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この"新・奥の細道"は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この"新・奥の細道"を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。

この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- ・そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金還元融資を受けてつくられました。